

「暮らしの質」向上検討会提言 概要

【経緯】

「すべての女性が輝く政策パッケージ」に基づき、「暮らしの質」向上プロジェクトの一環として、有村女性活躍担当大臣の下、有識者よりなる検討会を開催。

※「すべての女性が輝く政策パッケージ」（平成26年10月10日すべての女性が輝く社会づくり本部決定）抄
 すべての女性が輝くためには、女性の「暮らしの質」を高めることが重要である。（中略）女性の視点からみた日々の暮らしの悩みや不便などを解決するための方策について、すべての女性が輝く社会づくり本部において、今後具体的な検討を進め、逐次、できるものから実施する。

【概要】

- I 総論：すべての女性が輝くためには、生き生きと暮らす環境が大切。
 女性の持つ力が社会で積極的に評価されることにより、我が国社会が持続可能な社会に変化していくことが可能。
- II 各論：3つの分科会で行った議論の結果を取りまとめ。

空間づくりについて

【トイレ】

（女性が暮らしやすい空間へと転換する象徴）

⇒「ジャパン・トイレ・チャレンジ」の実施

- ・トイレの快適性・清潔性・安全性
 （待ち時間均等化や安全確保に向けた考え方の提示等）
- ・国際貢献
 （ODAを活用した途上国支援等）
- ・成長戦略・経済成長
 （国際標準化、訪日外国人向け魅力発信等）
- ・防災
 （避難所のトイレ改善等）
- ・地方創生
 （地方の公共トイレ改善に向けた好事例発信等）
- ・ユニバーサルデザイン化の推進

ネットワークについて

【問題・課題を抱えた女性への情報提供】

- ・情報提供のワンストップサービス化
 （「女性応援ポータルサイト」の充実強化等）
- ・情報等を必要とする者に係る積極的情報提供
 （相談窓口等の重点的周知等）

【妊娠、出産、子育て等に係る「支え合い」】

- ・マタニティ・ハラスメント対策
 （予防・対応策の強化等）
- ・国民の生活スタイルの変革
 （夏の生活スタイルを変革する国民運動の展開等）
- ・情報提供や支援の充実
 （男性の育休取得等に係る支援策の拡充等）

活動しやすくする工夫について

女性の置かれたシチュエーション別に、女性の「マインドセット」※を解き、活動しやすくするための民間の創意工夫について整理。
※教育・先入観などから形成される思考様式、心理状態。

【シチュエーション別の創意工夫例】

- ①子育て前（産前産後）
 （産前産後をラクにする商品、サービス提供等）
- ②子育て中（子どもが乳幼児）
 （コミュニティーでの助け合い、安全・安心なキッズデザイン等）
- ③子育て中（子どもが就学）
 （子どもの孤立防止、多世代での助け合い等）
- ④介護・困難な状況
 （様々な困難をサポートする仕組みづくり等）
- ⑤ポスママ・先輩ママ
 （経験や能力を社会に活かす仕組みづくり等）